



商品販売実績の見方

アマゾンで商品を販売する上で、必ず使って頂きたいサイトがあります。

モノレートというサイトです。

<http://mnrate.com/>

これはせどりをする上で必須の、アマゾンの商品ランキングと価格推移を、分かりやすく表示してくれているサイトです。

そもそも商品の価格は、需要と供給のバランスで決まっています。

需要・・・その商品を欲しい人が多ければ多いほど価格は高騰していきます。

供給・・・その商品を販売できる人が多ければ多いほど価格は下落していきます。

分かりやすい例を出すと、周りに何もない砂漠のと真ん中でお水を売るお店が有ればどうでしょうか？

1本100円で仕入れたお水でも1000円で売れそうなイメージができると思います。

需要が高くて供給が低い状態ですね。

しかし、その周りに同じように水を販売する業者が来たとしたら、同じ様には販売していけないですね。

需要が低くて供給が高い状態ですね。

明らかに前者の方が価格が高騰するというのが、需要と供給で決まる「価格」というものです。

そんな目に見えないデータを見える化してくれているのが、モノレートです。このサイトを駆使してどんどんリサーチしていきましょう。

商品販売実績の見方

トライウィン(Trywin) 家庭・車載用クロスプラズマイオン発生機 ブルーア(blue) HXI-2000B ブラック HXI-2000B の商品詳細 2012/04/10 参考価格



ランキング[カー&バイク用品]: 40188
参考価格

この商品を USA のamazonで 見る

ASIN: B007K3EZM4 JAN: 4560288919372

コンディション	最安値	出品者数	amazon販売
新品	¥ 5,300	8	ありません
中古	¥ 4,800	3	

商品詳細	レビュー	オークション	ストア
FBA料金	モノサーチ		

・参考価格

メーカーが希望小売価格で出している価格や市場相場価格です。

・出品者数8

この商品に対して8人の新品出品者が出品しているという数字です。

・出品者数3

この商品に対して3人の中古出品者が出品しているという数字です。

・ランキング

アマゾンのランキングはあくまで目安です。
ランキングは基本的に分析には使用しませんので、
感覚的には10000位以下は1日2、3個以上売れている
10000位以上は2、3日に1個売れているくらいの感覚です。

・ASIN

これはアマゾン独自の商品コードです。FBAシュミレーターで検索する時は、ASINをコピーして検索すれば手軽にできます。

・JAN

どんな製品にも基本的に13桁のJANコードが付いています。ネットや店舗で商品をリサーチするとき、このJANコードを探して入力すれば、確実な商品がHITします。

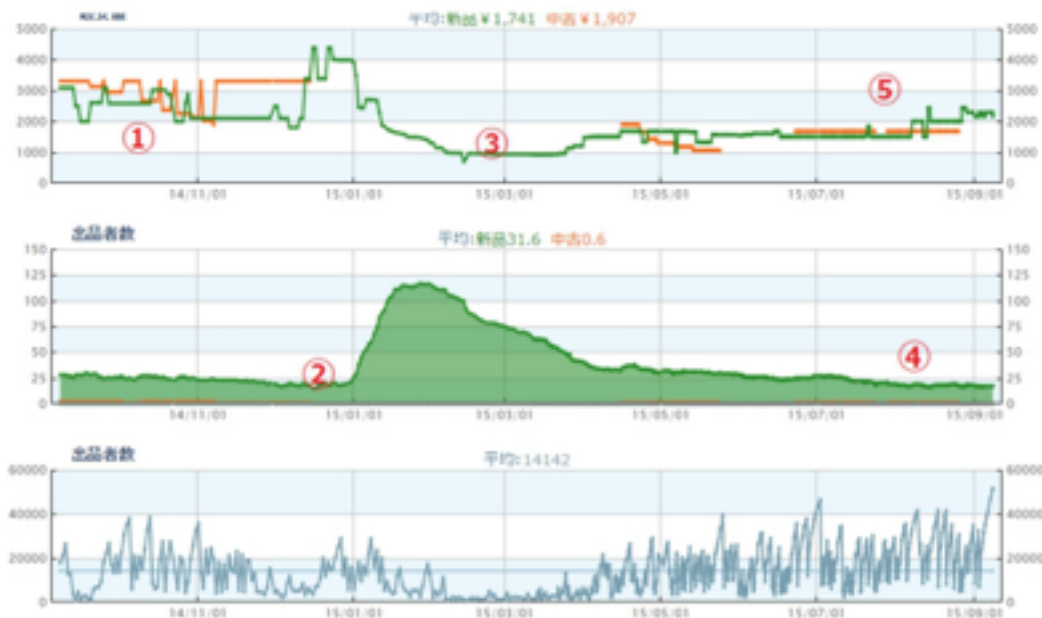
商品販売実績の見方

・期間

モノレートでは、

10日・1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月・12ヶ月と期間を指定できます。基本的に3ヶ月ベースで分析をしますが、ロングテール商品等はデータを長めにしてしっかりと分析します。

ではどのような見方をすれば良いか、実際のグラフを用いて説明していきますね。



グラフの左が商品の価格 / グラフの下が年月日

- ・1番上のグラフの左右辺が商品の価格
- ・真ん中のグラフの左右辺が出品者数
- ・1番下のグラフの左右辺がアマゾンランキング
- ・全グラフの下面が年月日

中古も新品もモノレートの見方は同じですので、今回は新品のグラフだけを追いかけます。

①の時点では、価格は2000～3000円に価格は落ち着いています。

②の時に急激に出品者が増えているのがわかります。これはどこかの店舗で全国一斉値引きを行った等の理由で出品者が急増したと考えられます。

③出品者が急増したために価格が一気に下がっているのがわかります。供給過多（出品者増）のために生じた現象です。

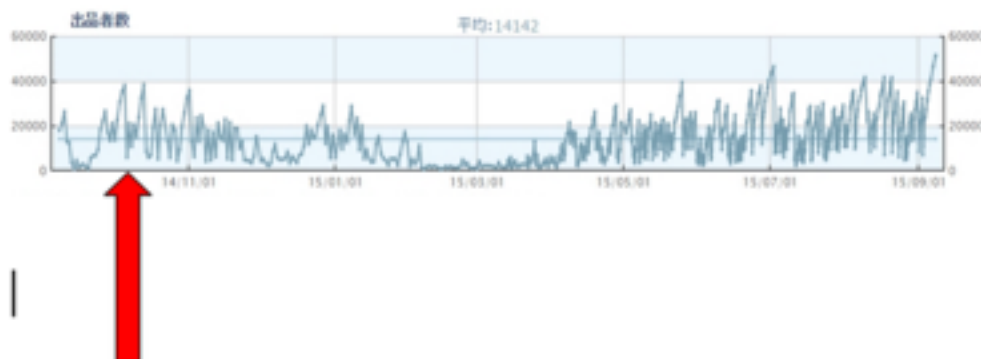
④出品者の数が減少してきました。売れ行きのいい商品なので出品者の減りが早いです。

⑤価格が急落してから半年で以前の価格に戻ってきました。これは、出品者の数が減少してきたから価格が徐々に戻りました。

これが需要と供給のバランスにより引き起こした価格の変動です。

ランキングの見方ですが、折れ線グラフが下に折れていれば最低1個の商品が売れているという見方をしてください。

商品販売実績の見方



この様に折れた部分がそうです。このグラフはかなり売れている商品であることがよく分かります。

では次にランキンググラフの下にある調査記録を見てみましょう。

調査日	ランキング	新品		中古		コレクター	
		出品者数	最安値	出品者数	最安値	出品者数	最安値
2015/04/21 現在	40017	2	¥13,800	2	¥11,800	0	
2015/04/20 20時	39431	3	¥13,800	2	¥11,800	0	
2015/04/19 20時	40026	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/18 20時	38999	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/17 20時	36434	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/16 20時	33316	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/15 20時	29981	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/14 20時	26521	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/13 20時	20235	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/12 20時	12620	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/11 11時	40316	4	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/10 11時	38287	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/09 11時	38237	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/08 11時	39654	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/07 10時	39763	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/06 10時	40135	2	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/05 10時	39842	2	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/04 10時	38771	2	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/03 10時	37345	2	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/02 10時	35585	2	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/04/01 10時	34649	2	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/03/31 10時	32567	2	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/03/30 10時	29455	2	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/03/29 10時	23931	2	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/03/28 22時	19984	2	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/03/27 09時	33878	3	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/03/26 09時	32953	2	¥13,800	1	¥35,392	0	
2015/03/25 09時	32116	2	¥13,800	1	¥35,392	0	

この表を使って、商品が本当に売れているのかを裏付けしていきます。ポイントは3つです。

- ・ 出品者が減っている時にランキングの変動があるか
- ・ ランキングの変動があった時に最低価格に変動はあるか
- ・ 出品者変動が新品か中古か

解説動画

<https://www.youtube.com/watch?v=arAIYExJI00&feature=youtu.be>

ここまでを頭に入れて頂ければ、もう1つ大事な事をお伝えします。

それは、この需要と供給のバランスが大きく崩れて価格崩壊に巻き込まれない様に気を付けなければならないという事です。

価格の急落する商品について・・・

今後、リサーチをしていく中で必ず価格破壊が起こってしまう商品に出会うでしょう。

価格破壊を起こす商品の成り立ちについて説明していきます。価格崩壊が起こる商品は、

「ある傾向」

がありますので、それを掴んでおいてください。

②のグラフ部分をもう一度見てみてください。ここから価格がみるみる下がります。

これが**価格崩壊**です。

先ほど述べたように価格崩壊が起こる商品は、供給量が需要を遥かにしのぐ場合に起こります。

供給過多の状態です。供給過多という状態は、全国規模の店舗で生じやすいです。

例えばドン・キホーテ、イオン、全国規模の家電量販店などの店舗が、全国一斉値引きをしたりすると出品者が急増し、供給過多の状態に陥ります。

仕入れをするだけでは無く、罠にはまらない様に守備力を上げていく事も大事ですので、意識して仕入れをしていきましょう。

まずは、自分でも仮説を立ててみて、その結果をしっかり見返してください。そして、分析が不安な商品は僕へ送って頂いて、こちらで分析結果をお伝えしますので少しずつ慣れていきましょう。